

ウェルおおさか

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

vol.97 2015.8

隔月発行(偶数月1日)

特集

障がいのある子どもの 放課後等デイサービス

- 講座案内
- 「福祉・介護職員のキャリアデザインノート受講履歴管理手帳」の紹介
- 図書・DVD新着情報



障がいのある子どもの 放課後等デイサービス

「意思や気持ちを言葉で表現するのが苦手」「他の子とうまく遊べない」「こだわりが強い」など、発達していくうえで支援の必要な学齢期の子どもたちが、社会の中で自分らしい生活を送るよう支援するための「放課後等デイサービス」が全国各地に設置されています。大阪市では、社会福祉法人や株式会社などが運営する200力所余りの事業所があります。今回は、障がいのある子ども本人の意思尊重を重視している、児童発達支援センター姫島こども園の「にこにこ教室」(西淀川区)と障がい児者余暇生活支援センター「じらふ」(住吉区)を訪ねてみました。

姫島こども園「にこにこ教室」

気持ちが通い合う 関係を築くために

姫島こども園の「にこにこ教室」は、言葉の遅れや発達が気になる学齢児(小学生)を対象に、火曜～金曜日(15:00～17:00)、土曜日(10:00～16:00)に開設しています。

最大の特徴は本人主体の療育と保護者相談です。「子どもの成長は、身近な大人との信頼関係が基盤になります。お母さんにも参加していただき、子どもとの関わりを通して、行動の背景にある子どもの意思や気持ちを感じとり、気持ちが通じ合う人間関係を築く支援をしています」と園長の岩崎隆彦さん。

子どもの気持ちを汲んでから

療育の前半は、親やきょうだい、他の

子どもたちと自由に遊びふれあう時間です。にこにこルームやプレイルームのほか、園庭で遊んだり、外へ出かけたりすることもあります。子どもたちには必ずスタッフが寄り添っています。

当日、にこにこルームでは、遊具を使って身体を動かす子もいれば、積み木をしたり、ミニチュアの食器や家具を並べたりしている子どももいました。取材で見知らぬ私たちが部屋に入ったことが影響したのか、作りかけていた積み木を崩して大きな音を立てた子どももいました。しかし、お母さんは慌てずに、「知らない人が来てびっくりしたんかなあ」と優しく声をかけていました。

児童発達支援管理責任者の坂本鋭行さんが、普段の様子を話してくれました。「子ども同士、おもちゃのとり合いになる時も、お母さん方は『○○ちゃんに

貸してあげなさい!』と我が子を叱って我慢させるのではなく、『○○ちゃんがこれで遊びたいと言っているけど、どうする?』と、まず子どもの意思を聞くようになられます」

我慢を強いられた子は どうなる?

学齢期に、意思が尊重され、発達に応じた配慮を受ければ、子どもは健やかに育っていきます。しかし、「人に迷惑をかけたらいけない」「社会は厳しいから、一人で生きていけるように」といった古い考えで、大人の意向で「させられて」過すと、子どもはどうなるのでしょうか。岩崎さんはこう話します。

「思春期になってストレスで親に暴力をふるうなどの行動障がいにつながる可能性があります。大人の対応は、子どもの意思表示や人間関係に計り知れない影響を及ぼします。『本当に納得して



「障がいに関係なく、きょうだいと一緒に遊べるのでホッとします」と鈴木さん親子。



広々とした園庭では、スタッフに見守られながら、自分たちの放課後を元気に遊びます。



創作活動は楽しい! 既製の車を改造中です。

いるか』、本人の意思を確認しながら、子どもの歩調に合わせて支援していくことが大切です」

「ここだから、話せる」

療育の後半は、「グループ相談」が開かれ、同じ立場の保護者同士が支え合い、子どもを理解する視点や実際の関わり方を学ぶ場となっています。

各自が、家庭や学校の様子や変化、みんなで話したいテーマを尋ねた「事前アンケート」を持ち寄り、それをもとに保護者同士が知恵を合わせて考えます。

「例えば『こういう時、どんなふうに先生に話せば分かってもらえる?』『うちの子は、こんなことするんだけど、どう理解したらいいのかな?』など現実的な対処法を話し合うこともよくあります」と坂本さん。

グループ相談に参加した保護者からは「ここでは、どんな話題でも共感してもらえるので安心して話せる」という声が聞かれました。また、利用して良かったこととして「頭ごなしに子どもを怒らなくなりました。一度子どもの気持ちを受け止める習慣が自然に身についた」「金曜の夜から、子どもが『早く(園に)行きたい』と楽しみにしているのが何より

嬉しい」などを挙げています。

多くのストレスを抱える母親

障がいのある子どもを育てている母親の負担やストレスは、非常に大きく複雑です。家庭内では、「父親が多忙で子育てに関われない」「考え方が違うので相談できない」、また「(障がいのない)きょうだいとバランスよく関われない」などの悩みがあります。

学校に対して要望や意見があっても、「母親の願いが先生にうまく伝わらない」「うるさい親と思われないか」と遠慮してしまう人もいます。また、引き継ぎが不十分な場合は、担任が替わるたびに、一から子どものことを説明しなければなりません。

さらに、相談に対して、自治体の相談窓口、学校、事業所が個々に異なる解決案を示されると母親は戸惑います。

将来を見据え、連携して一貫した支援を

障がいのある子どもは、コミュニケーションが苦手なので、関わる人が替わったり接し方が変わったりすると、その状況にうまく対処できません。その結果、



姫島こども園 児童発達支援管理責任者
坂本 鋭行さん

行動に問題が生じて、家庭における子育てがより困難になることもあります。したがって、事業所も学校も、家庭と良い関係を築きながら、子どもの状態に気を配り、必要に応じて協議する場を持つなど、互いに協力して成長を支えることが大切です。

支援の視点を共有できれば、『将来の自立に向けて、今自分が頑張らなければ』と焦る必要がなくなり、できなかったことは次の支援者に引き継げばよいので、子どもの意思やペースを尊重した関わりができやすくなります。

学齢期が良い状態で過ごせれば、成人期の生活は、現状よりずっと安心・納得できるものになると思われます。本人が人への信頼感と自信を持って生活できるよう、連携した発達支援が望まれます。

子どもの立場に立った理解と支援が大切 ～保護者も、教師も、支援者も～

社会福祉法人水仙福祉会姫島こども園 園長 岩崎 隆彦さん

障がいのある子どもたちは、大人が思っている以上にいろんなことを考えています。しゃべらない、とび跳ねる、自傷する・・・突然起こったように見えますが、本人にはちゃんと理由があります。

その行動をやめさせるのでなく、その子どもの立場に立って気持ち

を理解しようとすれば、謎は解けてきます。例えば、下の子を世話している母親に直接気持ちを伝えられないためにイライラが募り、自傷してしまう子どももいます。

心に焦点を当て、子どもが安心・納得できる対応を心がける…それが保護者にも、教師にも、支援者



にも求められます。気持ちが通じる人間関係の中で初めて、子どもは「今の自分でもいいんだ」という自信と自尊感情を育むことができるのです。

障がい児者余暇生活支援センター「じらふ」

主役は子ども

障がい児者余暇生活支援センター「じらふ」では、障がいの程度は問わず、子どもたちが集まり、仲間と一緒に楽しむことを通して、子どもたちの発達、成長を支援しています。

大阪市内4カ所、堺市内1カ所で、放課後等デイサービスを実施。火曜～金曜（13:00～17:00）、土・祝日（10:00～15:00）のほか、長期休暇期間（10:00～17:00）にも対応しています。

子どもたちは、「じらふ」に来て、自由に遊び、くつろいでいます。また、他の子どもやスタッフと一緒に、おやつ作りや買い物をしたり、地域のお祭りに参加したりしています。常に「子どもたち主体」で活動できる環境が用意されています。

「きらい」ではなく 「経験がない」からかな

「何して遊ぶ?」。その日の活動をス

タッフでなく、子どもたちが決めます。しかし、通いだしてしてすぐは、ほとんどの子どもたちが「遊び」をイメージすることが苦手です。その理由について、館長の原田徹さんにうかがいました。

「『遊びたいことがない』のでなく、主體的に遊んだ経験が少ないので指示のない『遊び』がイメージしにくいんです」これまで障がいのある子どもの生活は、家と学校の往復でした。大人になって作業所で働くようになって、家と作業所の往復。第三の場所や余暇がほとんどありませんでした。

「放課後等デイサービスは、子どもが遊ぶということを制限されていた現状に対しての『権利保障』だと原田さんは話します。

「自分で選ぶ」 小さな経験の積み重ね

私たちが、お金の使い方を覚えたのはいつでしょう?小遣いを握りしめ、欲

しいものを買に行ったのは、まさしく「放課後」ではないでしょうか。放課後、自由な時間をどう過ごすか、お金をどう使うか、小さな経験を積み重ねて、自己決定や自己選択ができるようになっていきました。

「じらふ」でも、それと同じように、自分たちが食べるお菓子や、ランチをつくる時の材料など、子どもたちと一緒に買いに行き、子ども自身が選びます。

「例えば、おやつは5つ買ってきて2つ選び、ほかは残しておく。おかわりは1回だけできるとルールを決めています。ある時、大好きなチョコをおかわりしようとしたら、すでになくなっていてショックを受けた子がいました。『なぜ、なくなったのか』をスタッフがわかるように伝え、次から、おやつを食べる前に、好きなものがあとどれだけ残っているか確認するようになりました。大きな成長です」

遊びの魅力について原田さんはこう話します。

「『遊び』は、おもしろく、楽しいもの。



自分でやることで、調理のしかたをゆっくりと理解していく。



(左上) 子どもたちの遊び場。(左下)「どこに行きたい?」「……」。うまく言葉が出てこない子どもも写真をつかえば、楽しくコミュニケーションが図れる。(上)イラストや写真で1日の流れを表している。

しかも、人それぞれ違います。本人の主体性や自発性、能動性を自然に引き出してくれます。『遊びたい』からこそ、いろんなことをがまんしたり、待ったりすることを覚えていきます。さらに成長すると、一緒に遊んでいる仲間たちのことを思う気持ちが生まれてきます。『がまんする』『待つ』『仲間のことを思う』は、将来、その子が自分らしく社会生活をおくるうえで大きな力となるはずです」

視覚的な支援で、 思考回路をつなぐ

「じらふ」では、話し言葉を理解しにくい子どものために、写真やカードを活用して、視覚的な支援をしています。

「『トイレ行く?』と聞いて、子どもが『うん』と言わなかったら『行きたくないんだ』と判断するのでなく、そもそも、『トイレ』が実物のトイレと結びついていないかもしれません。トイレの写真を貼ったカードをみせると『うん』という。それを何度も繰り返しやれば、おしっこに行きたくなった時、そのカードで意思表示をすることができます」

たとえゆっくりであっても、その子ど

もなりのテンポで成長していきます。子どもの成長を信じて、子どもに寄り添いながら成長を促すことが大切です。

遊び場は 生活圏内に あった方がいい

地域に住む人たちは、障がいのある子どもたちの成長のために、何ができるのでしょうか?

「障がいのある子どもが身近にいることを知っていただけたらいいと思います。それよりも、福祉施設の方が地域とつながっていく工夫が必要だと思っています」と原田さん。

例えば、「じらふ泉北」は、1階を地域に開放し、障がいの有無は関係なく、地域のいろんな子どもが利用できるフリースペースになっています。

「将来、障がいのある子どもたちが暮らしていく地元には、顔みしりがたくさ



屈託のない笑顔は、やりたいことができているから。学齢期にどれだけ楽しく遊んだかが、子どもの将来に影響する。

んいた方がいい。その環境を今からつくっています。子どもの頃、遊んだ場所なら、大人になってからも、自然に顔を出したりできるはずです。そうした意味でも、放課後等デイサービスは、生活圏内にある方がいいと思います」

10人居れば、10人が違う。それを全部、 受け止められることが、専門性

障がいのある子どもの放課後保障全国連絡会事務局長、
障がい児者余暇生活支援センターじらふ 館長 原田 徹さん

放課後等デイサービスには、さまざまな種類があります。室内外の自由遊びや散歩、音楽、体育などテーマのあるところ、学習塾のように勉強を学ぶところもあります。

じらふは、あえてテーマを決めず本人の主体性にまかせています。何かを「教える」以前に「何をし

て遊ぶ?」「誰と遊ぶ?」を考える力が、社会に出てから最も必要だからです。

スタッフは「遊んであげる」でなく、一緒にしっかり遊び合う。しっかり関わり合うからこそ、子どもたちの小さな変化や成長に気づき、よりよい方向に促していくこともでき



ます。

子どもの個性や好み、障がいの状況は、10人居れば、10人違う。それを全部、受け止められるのが本当の「専門性」だと思います。

講座案内

【市民向け講座】

講座名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
介護実習講座 入門コース	8月17日・24日・31日 すべて月曜日 10:00～12:30	市内在住、在勤、在学の方	看護師(訪問指導員)	介護を初めて行う方に、介護への認識・興味を深めてもらうため、基本となる簡単な介護を体験する	定員 20人 締切 8月10日 500円 (資料代、保険代)
社会福祉講演会 「福祉の今を知る! 大阪市内の福祉活動 の実践報告会」 同心会社会福祉研究 努力賞等受賞論文より	10月30日(金) 13:30～16:00	市内の社会福祉関係事業所に勤務する方や、市内在住・在勤・在学の方	【基調講演・まとめ】 桜美林大学大学院 老年学研究科 教授 (大阪市立大学名誉教授) 白澤 政和	①協働による地域課題解決を喚起する実践からの考察 ～社会福祉協議会による今後のコミュニティワーク展開の可能性～ ②地域とともに考える、災害時要援護者の見守りと支援について～防災をキーワードに、地域福祉を考える～ ③生野区における妊産婦支援・産褥センター立ち上げに向けた妊産婦支援の取組(実践報告)と取組からみえてくる区社協などの中間支援組織の役割	定員 80人 (先着順) 締切 10月28日 無料 申し込みされた方は、当日開始時間の5分前までに、直接、会場にお越しください。 定員を超過し、参加できない場合のみご連絡いたします。

【福祉従事者向け研修】

申し込み多数の場合は場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
リスクマネジメント研修	一般職員対象	大阪市内の社会福祉関係事業所に勤務する方	兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人	リスクマネジメントとは何かを学び、リスクを生みださない考え方や記録の書き方、コンプライアンス(法令遵守)など具体的に気をつける点について学ぶ	定員 50人 締切 8月21日 受講料 3,000円
	主任・リーダー職員対象			リスクマネジメントやコンプライアンス(法令遵守)への気づきから、リスクを生まない環境づくりを学び、普段の取り組みを演習で振り返りながら、明日からできるリスクマネジメントを学ぶ	定員 50人 締切 9月4日 受講料 3,000円
組織運営管理研修	プレゼンテーション	法人・施設の職場研修担当者、または従事予定者	京都光華女子大学 短期大学部 教授 森際 孝司	プレゼンテーションの基礎を実践的に学ぶ	定員 50人 締切 8月7日 受講料 3,000円
	職場研修担当者養成研修		福祉の職場研修担当者養成コース インストラクター	各法人・施設が、より良いサービスを提供するために職員の資質向上をめざして取り組む「職場研修」の推進のため、その研修担当者の養成を図る	定員 36人 締切 9月28日 受講料 9,000円
介護職員研修	介護職援助の技術編 「アクティビティ」	大阪市内の福祉事業所で高齢者等の介護に従事する職員	桃山学院大学 兼任講師 水流 寛二	介護職員に求められる援助技術の基本を学び、介護の質的向上を図る。本研修ではレクリエーション技術を含むアクティビティを通した、QOLの向上方法を学ぶ	定員 60人 締切 8月10日 受講料 3,000円
	介護職援助の医療知識① 「高齢者に必要な医学の基礎知識」		大阪府医師会介護・高齢者福祉委員会委員 東淀川区医師会理事 辻 正純	高齢者介護で必要な医療知識を学び、介護の質的向上を図る	定員 60人 締切 8月14日 受講料 3,000円

◆上記の申込・問合せ先◆

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 <http://www.wel-osaka.jp>

申込方法▶当センターのホームページから申込みフォームに入力するか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください。

申込記載事項

【必須項目】①講座・研修名、②名前(ふりがな)、③年齢、④連絡先住所(〒)、⑤電話、ファックス番号、⑥勤務先(所属)
※必須項目以外にも、必要な項目がある場合がありますので、ホームページなどで確認ください。

福祉・介護専門職のキャリアアップをサポート!

福祉・介護
専門職必携

福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳

ぜひご活用
ください!

福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています。

- (内容) ●A4判・リングファイル ●人生カレンダー
●キャリアデザインシート(ワークシート編)2頁
●大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
●受講履歴管理ページ(受講履歴シート編)9頁
●ビニールファイル4枚



◎これ1冊に受講履歴をファイリング。
修了書や資料が散逸しません!

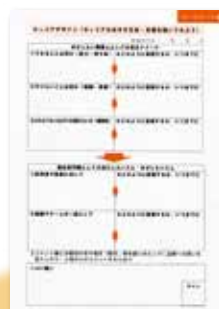


定価 600円(税込)

発行:2015年3月



◎これから何を学ぶかステップアップの
準備に生涯研修体系図が役立ちます!



◎部下と上司のコミュニケーション・ツールに! キャリアデザインノートは部下との面談などにも役立ちます



◎今なら、大阪市社会福祉研修・情報センター主催研修に使える「受講料500円割引クーポン」が1冊に1枚ついています(クーポン有効期限:平成28年2月29日)

Q どこで手に入りますか?(入手方法)

A 大阪市社会福祉研修・情報センターの1階事務室で販売しています。また、ホームページから申込用紙をダウンロードし、faxやメールで申込むことも可能です。

Q 法人(事業所)単位での購入もできますか?

A 購入できます。法人(事業所)の職員に配布して人材育成の一つのツールとして活用してはいかがでしょうか。なお、10冊以上の購入の場合は、送料は無料です。

(送料) ●1冊▶300円 ●2~3冊▶350円
●4~7冊▶460円 ●8~9冊▶610円

発行者:大阪市福祉人材養成連絡協議会
大阪市社会福祉研修・情報センター
問合せ・申込み先: ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272
✉kensyu@shakyo-osaka.jp

キャリアデザインノート(受講履歴管理手帳) 申込用紙

申込日 年 月 日

名前(事業所名)		
送付先	〒	
連絡先	☎	FAX
希望冊数		
毎月1回、研修情報を配信する「ウェルふるネットのメールマガジン」を希望の人はEメールアドレスを記載ください		
☐		

ホームページリニューアル! スマートフォン対応サイトもご活用ください



ウェルおおさか

検索

あなたの“学びたい”“知りたい”を 「ウェルふるネット」が応援!

スマートフォン対応のQRコードを追加しました!



大阪市福祉人材養成連絡協議会のホームページ

<http://www.welful.net/>

社会福祉に関する研修・

イベント・報告書などの情報満載!

ウェルふるネット

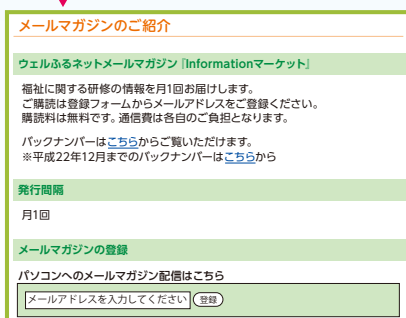
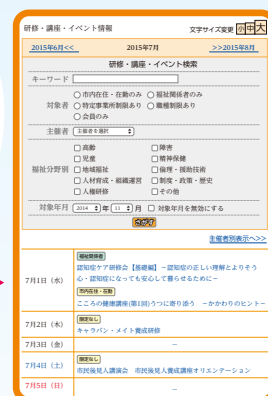
検索



新しい情報が更新されれば
随時お知らせ

目的にあった情報を
検索することが可能

メールマガジンの登録はこちらから



毎月1回メールマガジンを配信。
最新の情報があなたの元に届きます

●スマートフォンや携帯電話への配信も可能です!

次の手順でお申し込みください。

- ①受信制限をかけている方は、メールマガジンの配信元メールアドレス「jinzai@shakyo-osaka.jp」を受信できるように設定操作してください。
- ②右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。
- ③登録完了メールが届きます。

※QRコードを読み込めない場合、携帯電話は254g2r@a07.hm-f.jp、スマートフォンは254g7r@a07.hm-f.jpに送信してください。
※購読料は無料です。通信費は各自の負担となります。



スマートフォン
対応QRコード



携帯電話
対応QRコード



図書・DVD新着情報



図書紹介

『揺れる心が自分をつくる 放課後活動だからできること』

村岡 真治 著 全国障害者問題研究会
2013年

障がいのある子どもの放課後活動を行っている「ゆうやけ子どもクラブ」。その実践記録を、子どもの「気持ちの育ち」に視点をあてて綴った一冊。



『えほん障害者権利条約』

ふじい かつのり 作 汐文社
2015年

2006年に国連で生まれ、2014年に日本へやってきた障害者権利条約。条約がきちんと守られたら世の中はどうか。障害者権利条約の大切さ・めざす社会をやさしく紹介する。



『認知の母にキッスされ』

ねじめ 正一 著 中央公論社
2015年

認知症の母を介護する日々を綴った長編小説。生きることのおかしみやユーモアが溢れた親子の物語。



DVD紹介

『いきいき百歳体操 (にしなりver.)』

西成区役所 30分 2015年
高知県高知市が考案した「いきいき百歳体操」の西成版! 臣永正廣西成区長自らが出演し、体操をわかりやすく教えてくれる。



『ユマニチュード入門 優しさを伝えるケア技術』

デジタルセンセーション
120分 2012年

介護を拒む、同じことを何度も尋ねる、攻撃的になるなど「認知症の症状」とされる多くの問題について、ユマニチュードによる解決法を紹介したDVD。



『グレート・デイズ! 一夢に挑んだ父と子』

カルチュア・パブリッシャーズ
90分 2014年

頑固で不器用な父と、反抗期の車いすの息子が「トライアスロン」に挑戦する物語。2人の無謀すぎる挑戦は、やがて周囲の人々を巻き込んで、みんなの夢へと変わっていく。



図書・資料閲覧室からのお知らせ

ケアマネジャー試験・問題集の紹介

10月に実施されるケアマネジャー試験の問題集を紹介!

『詳解 ケアマネ試験 過去5年問題集』

コンデックス情報研究所 著
成美堂出版
平成26年～22年の過去問を徹底分析!



『ケアマネジャー試験 過去問一問一答 パーフェクトガイド2015』

NPO法人神奈川県介護支援専門員協会 編
中央法規出版
2015年制度改正対応。5年分の試験を一問一答形式に!



大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを約40,000点所蔵し、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関心の雑誌などが充実しています。)

開室時間：月曜日～土曜日 午前9時30分～午後5時

休室日：日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

☎06-4392-8233



すこやか大阪 21



大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。がんは2人に1人になる病気、定期的に忘れず検診を受けましょう。

大阪市では次のがん検診を実施しています。

検診種別(方法)	対象年齢・受診頻度※1	料 金	実施機関
胃がん検診 (胃部エックス線撮影)	受診日現在40歳以上の大阪市民 (年度中1回)	500円	保健福祉センター
		1,500円	取扱医療機関
大腸がん検診 (免疫便潜血検査)		300円	保健福祉センター 取扱医療機関
肺がん検診 (胸部エックス線撮影) (ハイスコア者には喀痰細胞診検査も併せて実施)		無料 (喀痰細胞診検査 400円)	保健福祉センター 取扱医療機関
子宮頸がん検診 (子宮頸部細胞診)	受診日現在20歳以上で前年度に受診されていない女性市民 (2年に1回)※2	400円	取扱医療機関
乳がん検診 (超音波検査と視触診)	受診日現在30歳代の女性市民 (年度中1回)	1,000円	取扱医療機関
	(マンモグラフィ検査のみ、またはマンモグラフィ検査と視触診) 受診日現在40歳以上で前年度に受診されていない女性市民 (2年に1回)※2	1,500円	保健福祉センター 取扱医療機関

がん検診以外の検診も実施しています。

検診種別(方法)	対象年齢・受診頻度※1	料 金	実施機関
〈特定健診等と同時実施〉 B・C型肝炎ウイルス検査 (血液検査)	当該年度において40歳以上の大阪市民で過去に同等の検査を受けたことがない方	1,000円	保健福祉センター 取扱医療機関
骨粗しょう症検診 (踵骨超音波測定法)	18歳以上の大阪市民	無料	保健福祉センター
歯周疾患検診 (問診・口腔内診査)	40・45・50・55・60・65・70歳の大阪市民	500円	取扱歯科医療機関

※1 いずれの検診も、勤務先等で同程度の検診を受診できる方、検診部位の病気等で治療中・経過観察中の方、自覚症状のある方は対象外です。また、当該年度の対象者となる生まれ年、無料受診の該当者等については、大阪市ホームページ及び市各区の広報誌等でご確認いただくか、各区保健福祉センターへお問合せください。

※2 平成27年度は受診対象の目安として、生まれ年が大正・昭和で偶数年の方をご案内しています

【内容へのお問い合わせ】

大阪市健康局健康推進部健康づくり課(成人保健) ☎06-6208-9943

大阪市国民健康保険加入者へは生活習慣病の健診も実施しています。

健康診査	対象者等	料 金	実施機関
特定健康診査	大阪市国保健康保険に加入されている40歳以上の方(来年の3月31日までに40歳になる方を含みます)	無料 (要受診券)	保健福祉センター 市内健診会場 府内取扱医療機関

【内容へのお問い合わせ】

大阪市福祉局生活福祉部保険年金課 ☎06-6208-9876

●健康と思う今こそ、受けよう検診！●

今月の 自助具 ホルダー付きお玉

資料提供 HUMAN 岡田 英 志さん

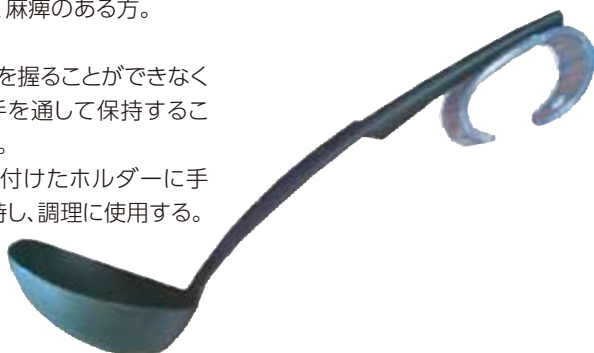
主な適応疾患・対象者▶

- 手指の筋力低下や、麻痺のある方。

機能・特徴▶

- 料理用のお玉の柄を握ることができなくても、ホルダーに手を通して保持することで、操作ができる。

使い方▶●柄に取り付けたホルダーに手を通してお玉を保持し、調理に使用する。



問合せ▶大肢協ボランティアグループ・自助具の部屋
☎06-6940-4189(月・水・金 10:00~15:00)

健康生活 応援グッズ

入浴で汗の季節を
乗り切る

入浴用品

さまざまなユニットバスに
取り付けできます



●ユニットバスサポーター UB-130

エプロン部が空洞の浴槽や、傾斜の大きな浴槽にも対応可能。脚部をつけることで浴槽の負荷を軽減すると共にアジャスター機能で安定性を確保。

座位保持がむずかしい方に 回転座面シャワーキャリー



肘掛けが、跳ね上げ式なので、乗り降りの
じゃまにならない。

●くるくるセーフティ

座面が360度回転(45度ごとにロック)するシャワーキャリー。しっかりと握れるグリップ肘掛けがそのまま前倒れ防止に使える安全設計。

浴槽への出入りを 安全に行う



●ステンレス製浴槽台R(あしぴた)

格子状のすべり止めゴムと吸盤のダブル効果で横すべりを防止、さまざまな浴槽に対応した浴槽台。洗い場で踏み台としても使用可能。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター2階

☎06-6762-7895 FAX06-6762-7894

http://kansil.jp

授産製品の販売出店始めました! おいしいお菓子やパンはいかがですか?



場所 大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 正面玄関前 **時間** 12:00~13:00

この販売は、障がいのある方の就労支援を目的としています

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		第2火曜日 ●パン	不定期の水曜日 ●パン ●お菓子 ●ケーキ ●クッキー 第4水曜日 ●パン ●クッキー	毎週木曜日 ●焼きいも 第3木曜日 ●パン&焼きいも	第1金曜日 ●焼き菓子 第2金曜日 ●コロケ 第3金曜日 ●焼き菓子 第4金曜日 ●パン	不定期の土曜日 ●焼き菓子 ●ケーキ

ただいま出店団体募集中です! お知り合いの作業所様にセンターでの販売をお声かけください。

お問い合わせは、大阪市社会福祉研修・情報センター ☎06-4392-8201

あなたのお好みに仕上げます。

パンフレットやカタログなど、

作りたいものがカタチにならず困っていませんか?

当社が企画から納品にいたるまで、各専門スタッフが、

あなたのお好みに合わせて仕上げます。

デザイン・
制作のことなら
気軽に
ご連絡ください。



TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5F

TEL: (06) 6362-1511 (代) FAX: (06) 6362-1510 E-mail: info@ad-emon.com

<http://www.ad-emon.com>

〔広告〕

福祉職員のための メンタルヘルス相談



毎週土曜日と、毎月第1・3水曜日に開設しています。

疲れやすい、やる気がでない、眠れない、
対人関係がうまくいかない...など
福祉の仕事に携わる方の
ストレスから生じるさまざまな問題の
相談に応じます。



メンタルヘルス相談(予約制)

電話または来所(まずはお電話ください)

必要に応じて来所によるカウンセリングも行います。

☎06-4392-8639

大阪市社会福祉研修・情報センター

●相談日時: 毎週土曜日、第1第3水曜日

午前9時30分~午後4時

※予約は、平日(午前9時30分~午後4時30分)も
受付しています。

●相談員: 臨床心理士 ●相談料: 初期相談無料

※秘密厳守します。

メンタルヘルス相談では、ご本人からだけではなく、
周囲にいる同僚や上司の方からのご相談も受け付けています。

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間／午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)
ただし、図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)
休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

●それぞれの開設日・時間

項 目	直通電話番号	開設日(休館日を除く)	開設時間
会議室など利用の問い合わせ	06-4392-8200	毎 日	午前9時～午後9時(土・日午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問い合わせ	06-4392-8201		午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室	06-4392-8233	月～土曜日	午前9時30分～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

大阪市社会福祉研修・情報センターでは、貸室ご利用の皆様により計画的に便利にご利用いただくため、空室状況を公開し、FAXによる申込みを受け付けています。

① 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「貸室のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6か月分掲載。

URL／<http://www.wel-osaka.jp/>

② 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前から、電話や直接窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙でお申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

●FAXによる申し込み手続きの手順

FAXによる申込は、ホームページの「貸室のご案内」→「FAXでのお申し込み」に、申込手順を掲載しています。

FAX 06-4392-8206

※ファックスでの申し込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。

■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午 前	午 後	夜 間	昼 夜 間
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

(単位:円)

交通／ご来所には**【市バス】【JR】【地下鉄】**をご利用ください

●市バス

「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

●JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約9分

●市営地下鉄・四つ橋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大田町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所 在 地／〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電 話／☎06-4392-8200(代表)

ファックス／FAX 06-4392-8206

U R L／<http://www.wel-osaka.jp/>



人権啓発キャッチコピー

【テーマ】人権全般について

つながる笑顔は、社会の宝

大久保 知泰さん(平成26年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー高校生部 優秀賞)